

九月十五日は老人の日

おとしよりを大切に

喜びと希望をみんなの手で

● 老後の生活が明るく、ゆたかなものであることは、すべての人の真実の願いであります。このため、すべての人の老後が健康で、しあわせに暮らすことができるように、老人福祉法が、昨年八月一日から施行され今年には二年目になりました。今年も九月十五日の老人の日を中心に各地で敬老会などの行事が行なわれますが、市民のみなさんにも深い理解と協力をいただきたいと思っております。

● 社会で行なうこと
 永年にわたり、社会の発展につくしてきた老人を尊敬しましょう。

● バスや汽車の中では老人に席をゆずったり、交通事故から老人を守るために運転者は徐行運転をしましょう。

● 老人に適當な職業や仕事を与えたり、社会的活動に参加する機会を与えましょう。

● 老人の自費者は一ダイクツが原因の大部分だとおぼれておりますように老人に何もさせず、また家のそとへも出さず、ただ留守番だけの生活は決してよいとは言えません。老人にも希望と能力に応じたことをしてもらおうとが必要で。

● 二、家庭で行なうこと
 「おじいさん、おばあさんありがとう」の気持ちで老人に感謝し尊敬しましょう。

● 老人は病弱にかかりやすいので、身体のわるいときには早目に医師の診察を受けるようにすめましょう。

● 老人クラブやリクリエーションへの参加には、老人が喜んで行けるようにしましょう。

● 老人自身が行なうこと
 老人は永年にわたる豊富な知識と経験を社会や家庭で役立つように努めましょう。

● 老人がいたわれ、尊敬されることは誠にするわしいことでもあります。老人自身も社会に対し永い経験を生かして奉仕活動をしたいたいのものです。



(写真は老人ホームで竹串を作り余生を楽しむ杉山和四郎さん84才)

まちの最高令者は 石津の原崎ますさん (94才)

昨年八月と今年の四月に六十五才以上の老人の調査を隣組長さんなどの協力を得て行ないました。それによりまして昨年より今年は大分日本人の平均と同じくらいです。



一、地区別に老人の占める割合が、一番多い大富地区で千人の中七十六人が老人であり、一番少ない小川地区で、千人中、四十一人となっております。

二、昨年の老人は、千人中五十三人でありましたが、今年には五十五人と増えており、平均寿命が男女とも約一年伸びたことになりました。これは子どもの死亡率が減少したことだけでなく、老人の寿命もたしかに永くなったといえることがいえます。

三、昨々と今年とを比べて

四、各地区別に調査した

昭和39年4月1日現在老令者集計表

地区	65才-69才		70才-74才		75才-79才		80才-84才		85才-89才		90才以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
焼津	304	349	236	297	115	204	42	99	11	47	1	5	709
大田	31	49	53	50	32	46	11	14	1	9	1	0	129
大見寺	6	7	11	6	3	3	3	3	1	3	0	0	24
東益津	135	133	89	109	44	61	13	36	1	14	0	5	282
大富	87	106	76	95	42	73	21	40	4	14	1	3	331
和田	71	89	66	91	38	67	15	48	4	16	0	0	195
越後島	64	83	67	76	53	65	15	43	3	10	0	5	202
越後島	3	7	4	10	2	4	4	3	0	1	0	0	15
計	701	823	602	734	329	523	124	286	25	114	6	18	1787
合計	1524	1823	1336	1523	852	1247	410	979	139	244	24	27	4285

男 41.7% 女 58.3%

内容は別表のとおりであり、また市内の最高令者は満九十四才に達した石津二五九番地の五六に住む原崎ますさんです。

原崎さんは明治三年五月

— 9月29日から10月1日まで —

老人の健康診査を実施

明治三十一年三月三十一日以前に生まれた六十以上の老人の三分の一について行なうことになっております。従って、全老人を対象に健康診査を行なうことができませんが、毎年順番に行ないますのでご了承ください。

一、診査を行なう地区
 焼津、大田、大見寺、東益津、大富、和田、越後島

二、診査を行なう月日
 九月二十九日から、十月一日までの三日間

三、診査を受ける場所
 市内の開業医または市立病院

四、診査の内容
 1 問診
 2 理学的診察(聴診、打診など)
 3 尿の検査(蛋白、糖、ロビリンゲン)
 4 血圧測定
 5 費用 無料
 6 その他 無料

健康診査を受ける人にはあらかじめ知らせることをお知らせいたします。なお、一般診査を受ける人、特に精密診査を受ける人には白紙を必要とする人は白紙をあらかじめ行ないます。

若いものに負けんぞと 奉仕活動で村の環境整備



中里「長命会」(会長 本平吉さん)の会員五十五人はおとしより仲間として何かみんなのためにすること喜ばれることをしようと計画しており、八月二日の日曜日に、公会堂として使用されているお寺の裏地清地、朝比奈川の土手にある川除地蔵尊や大地蔵の移転整備などを行ないました。

真夏の日の照りつける下で行なわれたこの長命会の奉仕活動は区民のみならずから大変に喜ばれました。中里には盆踊りなどをする広場がありながらも、夏と広場がなくなり、夏と盆踊り(写真は長命会の人たち)もおいぼる。

地蔵尊などはこの草影に人とおとしより仲間として何かみんなのためにすること喜ばれることをしようと計画しており、八月二日の日曜日に、公会堂として使用されているお寺の裏地清地、朝比奈川の土手にある川除地蔵尊や大地蔵の移転整備などを行ないました。

「長命会」という名の活動、いつまでも長生きをしてもらいたいものです。

